

軽やかに山道を駆け抜ける！

11/28[Sun]



▲勢いよくスタートする選手たち

第5回『孔子の里』トレイルランinたく（主催：『孔子の里』トレイルランinたく実行委員会）が2年ぶりに開催され、県内外から215人が集いました。青空のもと、多久聖廟をスタートした選手たちは、自然を楽しみながら、鬼の鼻山や聖岳などの山道18kmのコースを走り抜けました。ゴール地点では、豚汁が振る舞われ、選手の疲れた体を癒していました。

参加した選手は「毎回楽しみにしているので、2年ぶりに参加できて良かったです。自然豊かな山を一気に駆け上がるのは爽快でした。また来年も参加したいです」と笑顔で話されました。

多久の未来に向けて熱く意見交換

11/29[Mon]

中央公民館で「多久の未来を語る会」（主催：多久市商工会青年部）が開催されました。株式会社ホーホウの木藤亮太代表取締役を進行役に迎え、多久のまちづくりに取り組む3団体の代表者と横尾俊彦市長が、多久の未来について意見交換。

代表者からは、ドローンを活用した買い物支援などによるまちづくり、純米大吟醸酒「多久」の製造・販売や、コロナ禍での飲食店支援策など、さまざまな取り組みが紹介されたほか、市民が未来に向けて活動できる環境づくりなどが提案されました。

横尾市長は「自ら発案し、実践する市民力は多久の宝。市民のアイデアの種を大切に育てていきたい」と話しました。



▲意見に真剣に耳を傾ける多久未来プロジェクトの今木和人さん（左）、多久市まちづくり協議会かつやく隊の笹川俊一さん（中）、多久市商工会青年部の江里口翼さん（右）

サガン鳥栖×多久市 スポーツ交流宣言！

12/ 4 [Sat]



▲駅前不動産スタジアムのピッチで協定を結んだ福岡代表取締役（左）と横尾市長（右）

多久市はサガン鳥栖と連携協定を締結しました。この協定は多久市のまちづくりの一環として、プロスポーツを通じた青少年の人材育成とスポーツの振興をはかることを目的としています。協定式で、株式会社サガン・ドリームスの福岡淳二郎代表取締役は「クラブ理念と多久市のまちづくりの目標に通じるものがあります。この締結により今後一層、連携を高めていきたい」と話されました。また、当日は多久の特産品が当たる抽選会を実施。多久市のPR活動もあわせて行いました。